

改正理由	一部改正	改正 現行	備考										
現	行	改	正										
	<p>4. 横断歩道橋製作費</p> <p>4-1 製作工数</p> <p>(1) 横断歩道橋の製作工数は次式により算出することを原則とする。 製作工数=(A×a)×(1+β)+(B×b)×(1+β)+ (C×c)×(1+β)+(E×e)×(1+β)+D×d</p> <p>A: 桁本体部の重量 a: 桁本体部の標準工数(表4.1) B: 階段部の重量 b: 階段部の標準工数(表4.1) C: 斜路部の重量 c: 斜路部の標準工数(表4.1) D: 支柱部の重量 d: 支柱部の標準工数(表4.1) E: 高欄部の重量 e: 高欄部の標準工数(表4.1) β: 桁本体部・階段部・斜路部・高欄部の曲線橋補正率(表3.10) (注) 曲線補正率については、3-1に準ずる。</p> <p>(2) 横断歩道橋の標準工数は表4.1のとおりとする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 横断歩道橋標準工数 (人/t)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>桁本体部</th> <th>階段部</th> <th>斜路部</th> <th>支柱部</th> <th>高欄部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>I桁: 11.3 H桁: 9.3 C桁: 11.8 箱桁: 13.9</td> <td>I桁: 13.8 螺旋: 12.3</td> <td>I桁: 8.8 箱桁: 9.4</td> <td style="text-align: center;">8.2</td> <td style="text-align: center;">14.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) (桁本体部) I桁: 溶接I形鋼による横断歩道橋(I形断面の桁は上路, 下路ともにフランジ材として普通鋼板, T形鋼, CT形鋼のいずれでも可) H桁: H形圧延鋼による横断歩道橋 C桁: プレスC形鋼による横断歩道橋 箱桁: 溶接箱桁を用いた横断歩道橋 なお, 鋼床版としても鋼床版橋としての工数の割増は行わない。 (階段部) I桁: 溶接I桁による直線階段 螺旋: 螺旋状になった階段 (斜路部) I桁: 溶接I桁による斜路 箱桁: 溶接箱桁による斜路</p> <p>4-2 製作工労務単価 3-2に準ずる。</p> <p>4-3 溶接材料費及び副資材費 2-8に準ずる。</p> <p style="text-align: center;">IV-7-①-15</p>	桁本体部	階段部	斜路部	支柱部	高欄部	I桁: 11.3 H桁: 9.3 C桁: 11.8 箱桁: 13.9	I桁: 13.8 螺旋: 12.3	I桁: 8.8 箱桁: 9.4	8.2	14.5	<p>現行どおり</p> <p style="margin-top: 100px;">削除</p> <p>4-32 溶接材料費及び副資材費 2-8に準ずる。</p>	<p>記載の修正・削除</p>
桁本体部	階段部	斜路部	支柱部	高欄部									
I桁: 11.3 H桁: 9.3 C桁: 11.8 箱桁: 13.9	I桁: 13.8 螺旋: 12.3	I桁: 8.8 箱桁: 9.4	8.2	14.5									
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1										